

| 勾 留 状   |     |             | 指揮印 |
|---|-----|-------------|-----|
| 被 疑 者   | 氏 名 | 〇〇 〇〇       | ①   |
|   | 年 齢 | 〇〇年〇〇月〇〇日生  | 延 長 |
|   | 住 居 | 〇〇〇〇〇〇      | ①   |
|   | 職 業 | 〇〇          |     |
| 被疑者に対する〇〇被疑事件について、同人を〇〇警察署留置施設に勾留する。                        |     |             | 延 長 |
| 被 疑 事 実 の 要 旨   |     |             | ①   |
| 刑事訴訟法60条1項各号に定める事由  |     |             |     |
| 有 効 期 間   |     | 〇〇年〇〇月〇〇日まで |     |
| この令状は、有効期間経過後は、その執行に着手することができない。この場合には、これを当裁判所に返還しなければならない。 |     |             |     |
| 〇〇年〇〇月〇〇日<br>〇〇〇〇 裁 判 所<br>裁 判 官 〇〇 〇〇 ①                    |     |             |     |
| 勾 留 請 求 の 年 月 日   |     | 〇〇年〇〇月〇〇日   |     |
| 執 行 し た 年 月 日 時 及 び 場 所                                     |     |             |     |
| 記 名 押 印   |     |             |     |
| 執 行 す る こ と が できなかつたときはその事由                                 |     |             |     |
| 記 名 押 印   |     |             |     |
| 勾 留 し た 年 月 日 時 及 び 取 扱 者                                   |     |             | ①   |

(被疑者用)

刑事訴訟法60条1項各号に定める事由

下記の2, 3号に当たる。

- 1 被疑者が定まった住居を有しない。
- 2 被疑者が罪証を隠滅すると疑うに足りる相当な理由がある。
- 3 被疑者が逃亡し又は逃亡すると疑うに足りる相当な理由がある。

勾 留 期 間 の 延 長

|                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 延 長 期 間<br>令和 年 月 日まで    | 延 長 期 間<br>令和 年 月 日まで    |
| 理 由                      | 理 由                      |
| 令和 年 月 日<br>裁判所<br>裁判官   | 令和 年 月 日<br>裁判所<br>裁判官   |
| 勾留状を検察官に交付した年月日          | 勾留状を検察官に交付した年月日          |
| 令和 年 月 日<br>裁判所書記官       | 令和 年 月 日<br>裁判所書記官       |
| 勾留状を被疑者に示した年月日時          | 勾留状を被疑者に示した年月日時          |
| 令和 年 月 日 午 時 分<br>刑事施設職員 | 令和 年 月 日 午 時 分<br>刑事施設職員 |